

平成 22 年度 第 2 回

情報配線施工技能検定

3 級ペーパー実技試験問題



■注意事項■

1. 受験番号と氏名を下記記入欄に必ず記入して下さい。
2. 解答用紙の記入に当たっては、次の指示に従ってください。指示に従わない場合には採点されません。
 - (1) 解答用紙はOCR方式ですので、所定の口の枠からはみ出さないように、1文字ずつ記入してください。
 - (2) 受験番号欄には、必ず受験票に記載されている番号を記入してください。
 - (3) 氏名欄には、必ず受験票と同様に記入してください。
 - (4) 解答は濃度HB程度の鉛筆を使用してください。解答を訂正する場合は消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないでください。
3. 受験票は、試験時間中は必ず、試験監督官が見やすい机の上の通路側の位置に提示しておいてください。
4. 試験時間終了時には、解答用紙を回収します。
5. 試験問題に関する質問にはお答えできません。
6. そのほか、いかなる場合でも試験監督官の指示に従って、受験してください。

第1問

表1の該当番号内に、それぞれの語群、図群や写真群の中から最も適したものを1つ選び、その番号を該当番号の解答欄に記せ。

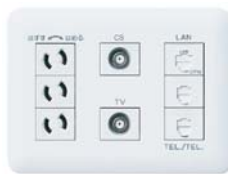
表1

名称	1	情報用コンセント	パッチパネル	2
写真		3	4	
用途	5	6	7	8

【1、2の語群】

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 成端箱 | 2. メカニカルスプライス素子 |
| 3. 通信アウトレット | 4. 導通試験機 |
| 5. パッチコード | 6. モジュラプラグ |

【3、4の写真群】



1



2



3



4



5



6

【5、6、7、8の語群】

1. 同軸ケーブル用のコネクタ
2. 素子内のV溝により光ファイバ素線の軸を合わせ光ファイバ同士を接続する部材
3. 光の導通確認や線路の破断個所の確認などを目視で行うときに使用する機器
4. 通信系、放送系や電源のコンセントを1ヶ所にまとめた器具
5. 配線モールで壁などの平面の曲がり部分に用いる部材
6. ケーブルの接続部や余長を収納するための箱
7. 多対ケーブルなど多くの心線を接続する場合に用いる配線盤
8. 配線モールで出っ張り部分に用いる部材
9. 通信用のオス型コネクタ
10. ワイヤマップを確認するときに使用する機器
11. 光ファイバ同士をアーク放電の熱エネルギーにより接続する機器
12. 光ケーブルを接続、成端するための箱

第2問（光ケーブル作業関連問題）

次の各設問の該当番号内に、それぞれの語群、図群や写真群の中から最も適したものを1つ選び、その番号を該当番号の解答欄に記せ。

(ア) 写真1の部材は、現場組立9と呼ばれ、10法により11を成端し、12型の9を現場で簡単に作成するためのものである。



写真1

【語群】

- | | | |
|---------------|------------|-------------|
| 1. メカニカルスプライス | 2. 融着 | 3. 光コネクタ |
| 4. F型コネクタ | 5. 光ファイバ心線 | 6. モジュラコネクタ |
| 7. UTP ケーブル | 8. SC | 9. FC |
| 10. MU | | |

(イ) 図1は、写真1の部材を組み立てる手順である。13～18にあてはまるものはどれか。

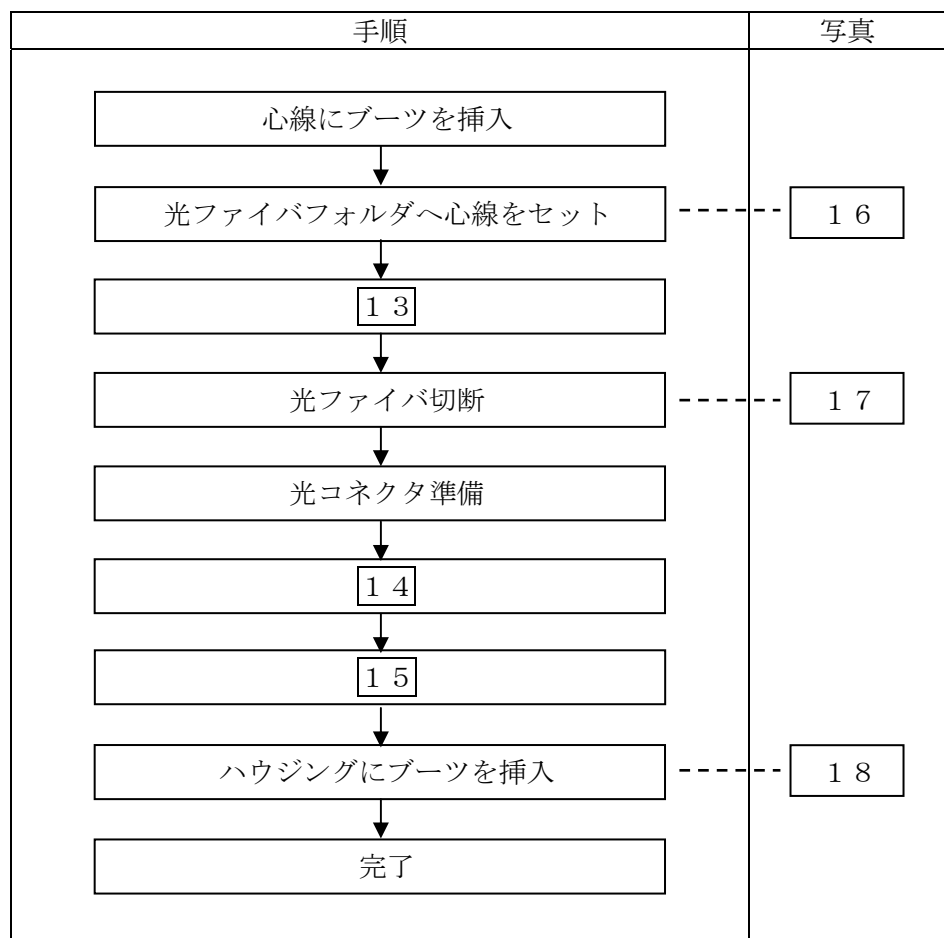
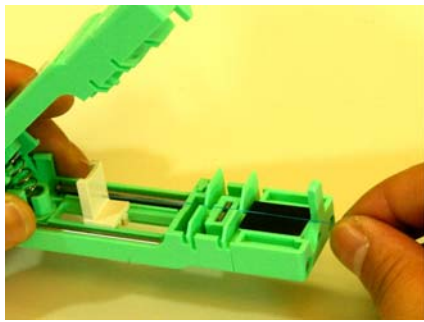


図1

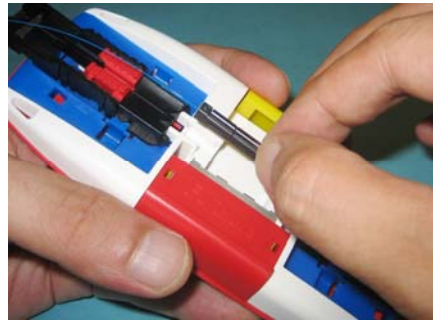
【13、14、15の語群】

- | | | |
|--------------|-----------|-------------|
| 1. 光ファイバの口出し | 2. 成端 | 3. クサビ挿入 |
| 4. クサビ抜去 | 5. ケーブル切断 | 6. 光ファイバの曲げ |
| 7. 光ファイバ挿入 | 8. 研磨 | 9. コネクタ接続 |

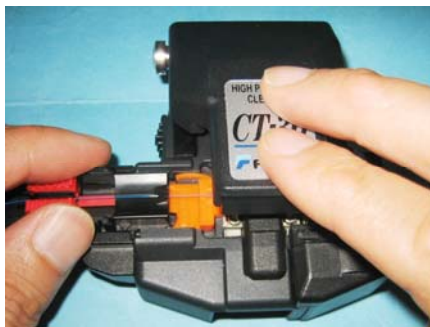
【16、17、18の写真群】



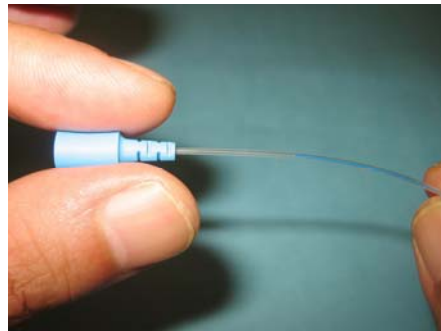
1



2



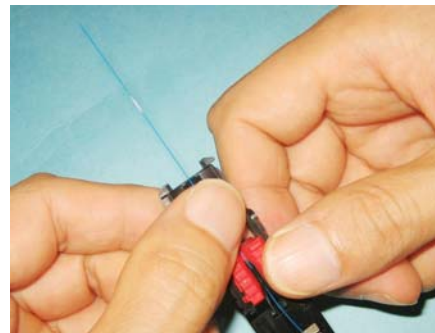
3



4



5



6

(ウ) 写真2のように光ファイバ心線がたわむことを確認する主な理由として最も適切なものは、19である。

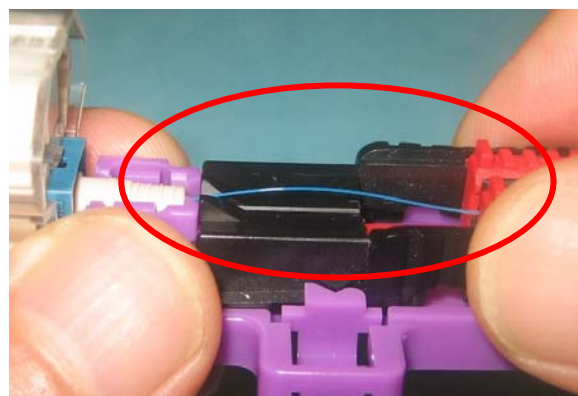


写真2

【語群】

1. 光ファイバ心線の強度を確認するため。
2. 光ファイバ心線が内蔵光ファイバに突き当たったことを確認するため。
3. 光ファイバ心線の曲げ半径を確保するため。
4. 光ファイバ心線を固定するため。

(エ) 写真 1 の部材を組み立てる際に、注意しなければいけないことで間違っているものは、20である。

【語群】

1. 光ファイバの口出し長は定められた長さとする。
2. 素子内に異物が入ることを避けるため挿入する光ファイバを良く清掃する。
3. 挿入する光ファイバの端面を良好なものにする。
4. 素子は繰り返し使用しても全く問題がない。